（資料２）

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：がん

1） 2） 3） 4） 5）	がんと生活習慣病予防との関係性の周知（●） がん検診の必要性の周知（●） がん予防啓発のための講座等の実施（●） 胸部、大腸、子宮、乳がん、前立腺がん検診の受診者数を増やす取り組み（●） がん検診における要精検受診率の向上（●）	令和元年度取組についての担当課全体評価	B：概ね計画通りできた

番号	事業名	事業内容	担当課		
① ② ③ ④ ⑤	市民健診事業 特定健康診査事業 健康教育事業 健康づくり推進事業	・広報等での啓発や市民健診結果説明会の有効活用 ・健康教室の実施 ・講演会の実施 ・ポスター作成やパンフレットの配布 ・各種イベント等による啓発 ・精密検査未受診者へのアンケート調査 ・精密検査受診者へのパンフレットの配布（集団検診）	保健所健康づくり課（健康対策担当）	担当課評価理由	計画していた事業は概ね実施することができた
				課題と今後の方向(改善案)	各事業は引き続き継続して実施する。

令和元年度計画		令和元年度実績		令和２年度計画
・「がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン」のポスターを作成（10月予定）し、市の掲示板などに掲示する。	→	・他部局との共同事業のため調整の結果、作成を見送った。	→	・「がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン」のポスターを作成（10月予定）し、市の掲示板などに掲示する。
・市民健診の講演会を開催する。	→	・11月30日（土）乳がん・胃がんリスク検診市民講演会を開催し、55名の参加があった。	→	・市民健診の講演会を開催する。
・胃がんリスク、乳がん、子宮頸がん、大腸がん、胸部検診の精密検査未受診者へのアンケート調査を実施する。	→	・胸部・大腸がん・胃がんリスク・乳がん・子宮頸がん検診の精密検査未受診者に対し、受診勧奨とともに未受診理由の調査を実施。胃がんリスクでは発送数410人に発送し、207人が回答。大腸がんでは発送数650人に発送し、395人が回答。胸部では365人も発送し、212人が回答。乳がん では49人に発送し、 29人が回答した。返信がなかった方へのフォローは調査時に精密検査受診勧奨文書を送付した。精密検査未受診者への未受診理由で一番多かった理由は、胃がん検診では、「なんとなく受けそびれた」、大腸では「再度検診の結果で考えようと思った」、胸部検診では「毎回同じ結果なので受けなかった」、乳がん検診では「なんとなく受けそびれた」だった。	→	・胃がんリスク、乳がん、子宮頸がん、大腸がん、胸部検診の精密検査未受診者へのアンケート調査を実施する。
・40歳女性に乳がん検診、20歳女性に子宮頸がん検診の無料クーポン券を配布する。	→	・40歳女性2,286人に乳がんの無料クーポン券を送付し633人が受診、20歳女性1,935人に子宮頸がん検診の無料クーポン券を送付し293人が受診した。	→	・40歳女性に乳がん検診、20歳女性に子宮頸がん検診の無料クーポン券を配布する。
・40歳男性にがん検診の受診勧奨を行う。	→	・40歳男性6,736人にがん検診の受診勧奨を行い、延べ353人が受診した。	→	・40歳男性にがん検診の受診勧奨を行う。
・20歳女性及び40歳男女に、がん検診受診の再勧奨を行う（11月予定）。	→	・20歳女性及び40歳男女6,736人に、がん検診受診の再勧奨を行った。	→	・20歳女性及び40歳男女に、がん検診受診の再勧奨を行う（11月予定）。
・平成26年度胃がんリスク検診A判定者に、検診受診勧奨のはがきを送付する。	→	・平成26年度胃がんリスク検診A判定者3,870人に検診受診勧奨はがきを送付し、そのうち1,166人が受診した。	→	・平成27年度胃がんリスク検診A判定者に、検診受診勧奨のはがきを送付する。
・集団健診の胃がんリスク検診受診者に、胃がん発生リスクに関するちらしを結果通知に同封する。	→		→	・集団健診の胃がんリスク検診受診者に、胃がん発生リスクに関するちらしを結果通知に同封する。
・ホームページ・すかりぶに市民健診の案内を載せる。	→	・ホームページに市民健診の案内を載せた。	→	・ホームページに市民健診の案内を載せる。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：がん

1） 2） 3） 4） 5）	がんと生活習慣病予防との関係性の周知（●） がん検診の必要性の周知（●） がん予防啓発のための講座等の実施（●） 胸部、大腸、子宮、乳がん、前立腺がん検診の受診者数を増やす取り組み（●） がん検診における要精検受診率の向上（●）			令和元年度取組についての担当課全体評価	B：概ね計画通りできた
番号	事業名	事業内容	担当課	担当課評価理由	健康フェアの開催がなかったため、食育推進キャンペーンで啓発を行った。キャンペーンの形態・規模が違うため、実績は昨年度より65人少なくなった。 新型コロナ感染症予防対策のため女性ホルモンをテーマにした講演会が中止になり、啓発ができなかった。
① ② ③ ④ ⑤	市民健診事業 特定健康診査事業 健康教育事業 健康づくり推進事業	・広報等での啓発や市民健診結果説明会の有効活用 ・健康教室の実施 ・講演会の実施 ・ポスター作成やパンフレットの配布 ・各種イベント等による啓発 ・精密検査未受診者へのアンケート調査 ・精密検査受診者へのパンフレットの配布（集団検診）	保健所健康づくり課（総務・健康増進担当）	課題と今後の方向(改善案)	市民が多く参加するイベントや女性向けの講演会,健康教育の場を活用し、がん検診の勧奨及び自己検診の啓発を計画的に行っていく。

令和元年度計画		令和元年度実績		令和２年度計画
・「健康フェア」にて乳がんの自己検診啓発を実施する予定。	→	・開催会場がリニューアルのため閉館中だったため、食育推進キャンペーンで乳がん自己検診啓発を実施し、87人の参加あり。	→	・引き続き、健康フェア等の市民が多く参加するイベントや健康教育の機会をとらえて、がん検診受診勧奨及び自己検診の啓発を行う。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：循環器疾患・糖尿病

１） ２） ３） ４） ５）	健康診断を受けやすい環境の整備（●） 健康診断の必要性の周知（●） 必要に応じた健康診断後のフォローの実施（●） 生活習慣病（脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧、脂質異常症、糖尿病）、メタボリックシンドローム予防に関する知識の普及（●） 生活習慣病予防と改善のための食事や運動の講座等の実施（●）	令和元年度取組についての担当課全体評価	A：計画通りできた

番号	事業名	事業内容	担当課		
① ③ ⑤ ⑦ ⑧	市民健診事業 特定健康診査事業（国保・社保） 健康づくり推進事業 健康教育事業 健康相談事業	・各健康診査の実施 ・市のホームページ等に医療機関情報（日曜診療等）掲載 ・集団健診の休日健診の開催回数の増加 ・広報よこすかに啓発記事の掲載 ・かかりつけ医による個別受診勧奨 ・イベントでの広報活動・生活保護等の特定保健指導の実施 ・市民健診結果説明会の有効活用・各種健康教室の実施 ・地域や職域からの依頼による健康教育の実施 ・ポスター・ちらし・市ホームページを利用した普及啓発 ・ヘルスメイトによる委託事業の実施 ・各種イベント等による啓発・各種健康相談の実施	保健所健康づくり課（健康対策担当）	担当課評価理由	計画していた事業は全て実施することができた。
				課題と今後の方向(改善案)	各事業は引き続き継続して実施する。

令和元年度計画		令和元年度実績		令和２年度計画
・集団健診は5月～翌年の３月16日まで実施する。個別健診は5月～翌年2月まで実施する。	→	・集団健診は5月～翌年の2月29日まで実施し、(新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月は休止）個別健診は5月～翌年2月まで実施した。	→	・集団健診は5月～翌年の３月15日まで実施する。個別健診は5月～翌年2月まで実施する。(新型コロナウイルス感染拡大防止のため5月～7月は休止）
・日曜日に健診を実施している医療機関をホームページに掲載する。	→	・日曜日に健診を実施している医療機関をホームページに掲載した。	→	・日曜日に健診を実施している医療機関をホームページに掲載する。
・集団健診の休日健診を日曜日に6回・土曜日に4回実施する。	→	・集団健診の休日健診を日曜日に7回・土曜日に3回実施した。	→	・集団健診の休日健診を日曜日に7回・土曜日に4回実施する。(新型コロナウイルス感染拡大防止のため5月～7月は休止）
・広報よこすかに市民健診の案内記事を月一回掲載する。	→	・広報よこすかに市民健診の案内記事を月一回掲載した。	→	・広報よこすかに市民健診の案内記事を月一回掲載する。
・集団健診の結果説明会を年24回開催する。	→	・集団健診の結果説明会を年23回開催した。	→	・集団健診の結果説明会を年24回開催する。(新型コロナウイルス感染拡大防止のため5月～7月は休止）
・国保の特定保健指導（動機付け・積極的）の対象者（希望者）に特定保健指導を実施する。	→	・特定保健指導を年48回１１４人（動機付け３６回101人、積極的12回１３人）実施した。	→	・国保の特定保健指導（動機付け・積極的）の対象者（希望者）に特定保健指導を実施する。
・慢性腎臓病（CKD）や透析に至ることを防ぐため、検診実施医療機関を通じて、糖尿病や高血圧の治療には至っていない生活習慣病予備軍の者に対して、CKDのパンフレットを配布する。	→	・検診実施医療機関158機関を通じて、生活習慣病予備軍の者に対して、CKDのパンフレット3,415部を配布した。	→	・慢性腎臓病（CKD）や透析に至ることを防ぐため、検診実施医療機関を通じて、糖尿病や高血圧の治療には至っていない生活習慣病予備軍の者に対して、CKDのパンフレットを配布する。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：循環器疾患・糖尿病

1） 2） 3） 4） 5）	健康診断を受けやすい環境の整備（●） 健康診断の必要性の周知（●） 必要に応じた健康診断後のフォローの実施（●） 生活習慣病（脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧、脂質異常症、糖尿病）、メタボリックシンドローム予防に関する知識の普及（●） 生活習慣病予防と改善のための食事や運動の講座等の実施（●）	令和元年度取組についての担当課全体評価	B：概ね計画通りできた

番号	事業名	事業内容	担当課
① ③ ⑤ ⑦ ⑧	市民健診事業 特定健康診査事業（国保・社保） 健康づくり推進事業 健康教育事業 健康相談事業	・各健康診査の実施 ・市のホームページ等に医療機関情報（日曜診療等）掲載 ・集団健診の休日健診の開催回数の増加 ・広報よこすかに啓発記事の掲載 ・かかりつけ医による個別受診勧奨 ・イベントでの広報活動・生活保護等の特定保健指導の実施 ・市民健診結果説明会の有効活用・各種健康教室の実施 ・地域や職域からの依頼による健康教育の実施 ・ポスター・ちらし・市ホームページを利用した普及啓発 ・ヘルスメイトによる委託事業の実施 ・各種イベント等による啓発・各種健康相談の実施	保健所健康づくり課（総務・健康増進担当）

担当課評価理由	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、一部中止した事業もあったが、概ね計画通りに実行できたため。
課題と今後の方向(改善案)	・新規の病態別運動教室では、自宅でも実施可能な内容にし、講座の受講のみでなく、運動習慣が身につき、生活習慣病を予防できる人を増やすことを目指す。 ・スマートダイエット講演会は午前の部は集客ができないこと、受講者に高齢者が多くなることを鑑み、次年度は年1回、夜の部のみの開催とする。

令和元年度計画		令和元年度実績		令和２年度計画
・各事業とも、次年度も継続して実施する。 ・引き続きスマートダイエット講演会（年2回）を実施する。スマートダイエット教室（年2コース）をすこやかんが実施する。 ・各コミュニティセンターでのヘルスメイトの活動回数を増やし、市民に活動内容を知ってもらう。 ・病態別栄養教室については、すでに診断されている方も参加（昨年度）しているので、これについても対応でるよう内容をさらに充実させる。また個別の栄養相談につなげるよう促す。 ・引き続き体力チェックと医師相談健康相談及び健康相談等を実施する。 ・新たに刊行する健康づくり情報紙を利用し、生活習慣病予防の情報を発信する。		・スマートダイエット講演会を年2回実施。【夜の開催：71名、午前開催：30名　受講者合計101人】 ・スマートダイエット教室（年2回コース）はすこやかんで実施。夜開催：22名、午前開催9名、合計31名参加。 夜開催実績：体重平均－6.02Kg、腹囲平均－6.9cm 平均体重減少率約8.6% 午前開催実績：体重平均－5.76Kg、腹囲平均－6.2cm 平均体重減少率約8.4% 全体実績：体重平均－5.89Kg、腹囲－6.55cm、平均体重減少率約8.5% ・ヘルスメイト調理実習6回 63人。 ・昨年度の病態別栄養教室6回 129人。周知のため、医師会にポスター掲示を依頼した。 ・栄養健康相談19回・36人実施 ・健康相談を年6回実施し、16人が利用した。 ・体力チェックと医師相談を年11回実施し、（3月は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止）27人が利用した。 ・健康運動相談を年49回、85人に対し行った。 ・情報誌「健康情報便vol3」において、身体活動を一日10分増やすプラス１０の取り組みを紹介した。（配布数：6880部、配布先：庁内各所・横須賀商工会議所・市内企業6社）		・スマートダイエット講演会は年1回の夜コースのみとする。あわせてすこやかんで開催するスマートダイエット教室も年1回コースとする。 ・【新規】生活習慣病予防講演会を年1回実施する。 ・【新規】病態別栄養教室のフォロー及び生活習慣病予防を目的とした病態別運動教室を年6回行う。 ・引き続き、健康相談、体力チェックと医師相談、健康運動相談を実施する。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：循環器疾患・糖尿病

1） 2） 3）	健康診断を受けやすい環境の整備（●） 健康診断の必要性の周知（●） 必要に応じた健康診断後のフォローの実施（●）	令和元年度取組についての担当課全体評価	B：概ね計画通りできた

番号	事業名	事業内容	担当課		
② ④ ⑥	特定健康診査事業（国保） 特定保健指導事業（国保）	・40歳から74歳までの国保被保険者に対する特定健康診査の実施 ・内臓脂肪型肥満に着目した検査項目での健診を、保健所健診センター及び医療機関に委託し実施 ・毎年5月に受診券を送付　広報紙、ホームページ等で周知 ・40歳から74歳までの国保被保険者に対する特定健康診査の実施後、対象者へ利用券を送付し、特定保健指導を医療機関に委託し実施	健康長寿課（旧健康保険課）	担当課評価理由	第２期データヘルス計画に沿って、効果・効率的な事業の展開に努め、予定していた事業の目標はおおむね達成できた。
				課題と今後の方向(改善案)	・既存事業については、引き続き継続して実施する。 ・第2期データヘルス計画 について、中間評価及び 改訂計画 を策定する。 ・市医師会と連携したCKD病診連携システムを推進し、人工透析新規導入数の減少を目指す。

令和元年度計画		令和元年度実績		令和２年度計画
・はがき・電話による特定健康診査受診勧奨	→	・受診勧奨はがき 34,580通 /電話勧奨 6,931件実施　（平日に加えて夜間・休日の電話勧奨も実施）	→	・はがき、電話による特定健康診査受診勧奨
・受診勧奨通知の内容改善（個人属性や受診動向等の分析による文面の工夫）	→	・受診動向等により対象者ごとに文面を工夫した鑑賞はがきを作成した。	→	・受診勧奨通知の内容改善（個人属性や受診動向等の分析による文面の工夫）
・早期受診促進キャンペーン	→	・令和元年5～8月受診者を対象として実施	→	・早期受診促進キャンペーンは新型コロナウイルス感染症の影響のため中止
・人間ドック費用の一部助成	→	・人間ドック費用439件助成	→	・人間ドック費用の一部助成
・39歳被保険者を対象にした郵送型簡易血液検査の実施	→	・郵送型簡易血液検査を96人に実施	→	・39歳被保険者を対象にした郵送型簡易血液検査の実施
・勤務先での健康診断結果提出で記念品を贈呈	→	・勤務先での健康診断結果提出者に記念品を72件贈呈	→	・勤務先での健康診断結果提出で記念品を贈呈
・特定健康診査結果やレセプトデータに基づいて策定した第2期データヘルス計画の推進	→	・平成30年3月に策定した第２期データヘルス計画に沿って、保健事業の推進に努めた。	→	・特定健康診査結果やレセプトデータに基づいて策定した第2期データヘルス計画の推進及び中間評価、改訂計画を策定する。
・生活習慣病発症予測通知（生活習慣病の発症リスクを数値化した通知）を用いたハイリスク者への通知	→	・生活習慣病発症予測通知を506通発送	→	・生活習慣病発症予測通知（生活習慣病の発症リスクを数値化した通知）を用いたハイリスク者への通知
・はがき・電話による特定保健指導利用勧奨	→	・利用勧奨はがき 1,564件/電話勧奨 1,647件実施	→	・はがき、電話による特定保健指導利用勧奨
・ハイリスク者への保健指導の実施	→	・血圧・血糖・脂質・腎機能のハイリスク者について医療機関への受診勧奨を実施（通知・電話・訪問）	→	・ハイリスク者への保健指導の実施
・糖尿病性腎症重症化予防に関する取り組み	→	・糖尿病性腎症重症化予防プログラムを7人に実施（うち2名は途中辞退）	→	・糖尿病性腎症重症化予防に関する取り組み ・市医師会と連携したCKD病診連携システムの推進
・肥満防止講演会の開催	→	・講演会と特定保健指導の対象者が重複することから、特定保健指導の充実を優先し、一部機関での実施期間短縮等の取り組みを始めた（講演会は実施せず）。		
・肥満対策としてチラシ等を利用したポピュレーションアプローチの継続	→	・啓発チラシを作成し、特定健診結果に同封した。	→	・肥満対策としてチラシ等を利用したポピュレーションアプローチの継続

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表
取り組みの分野：健康づくりを目的としたネットワーク
（１）健康づくりの発信源としてのボランティアの育成
（２）地域健康づくりネットワークへの取り組み

（1)-1） （1)-3） （2)-1） （2)-2） （2)-3） （2)-5） （2)-6）	ヘルスメイトよこすかの会員数を増やす取り組み（●■） ラジオ体操サポーターを育成する取り組み（●） 地域健康教育、講座の実施（●■） 健康づくりグループの育成（●■） ヘルスメイトの活動の周知（●■） 地域職域との連携を図る（ラジオ体操の推進、食事バランスの啓発、禁煙対策、適量飲酒、こころの健康など）（●■） ラジオ体操登録団体の支援（●）	令和元年度取組についての担当課全体評価	B：概ね計画通りできた

番号	事業名	事業内容	担当課		
① ③ ⑦ ⑨ ⑩ ⑫ ⑬	健康づくり推進事業 健康教育事業	・健康づくりリーダーの育成 ・ラジオ体操サポーター養成講座、フォローアップ研修の開催 ・地域からの依頼による健康教育の実施 ・ホームページへの掲載やチラシの配布等による周知 ・職域との連携による健康教育の実施 ・各種イベントによる啓発 ・スタートセットの配布 ・ホームページやチラシ等での会場の周知 ・活動発表会の実施 ・ラジオ体操講師の派遣	保健所健康づくり課（総務・健康増進担当）	担当課評価理由	・サポーター養成講座を計画通り実施し、77人の新たな登録があった。ラジオ体操活動グループは8グループの新規登録があり、通算100グループの登録数に達した（活動中止11グループ、計８９グループが活動中）。 ・イベント型ラジオ体操講座はなくなったが、地域職域健康教育で行ったラジオ体操指導は好評だった。 ・養成講座は90%以上の受講者が修了する事が出来た。 ・キャンペーンは広い会場で、様々なテーマで多くの人に啓発を行う事ができた。
				課題と今後の方向(改善案)	・ラジオ体操はいつでもどこでも誰でもできる体操として、地域づくりや災害時のエコノミー症候群予防のツールとしても見直されている。無理なく継続できる運動として、引き続き啓発を行うとともに、より効果的にまた安全にできる方法を伝えていく。 ・食育推進キャンペーンの開催内容の検討を食育検討部会員と協力しながら、行っていく。

令和元年度計画		令和元年度実績		令和２年度計画
・サポーター養成講座を２回開催する。 ・サポーターフォローアップ研修は、健康づくり講演会を研修として行い、周知を行う。 ・ラジオ体操活動グループ登録、活動発表会は継続して実施する。 ・各種教室においてラジオ体操活動の紹介、グループ登録案内を行っていく。	→ → → →	・サポーター養成講座を年３回実施し（うち1回はスポーツ推進委員向け）、合計100人が受講、77人が新たにサポーター登録をした。ラジオ体操サポーターの登録数は延べ９３３人になった。 ・サポーターフォローアップ研修は、市民向け健康教育として1回、及び健康づくり講演会として1回行い、合計159人が参加した。 ・各教室等でラジオ体操活動グループ登録勧奨を年間を通じて行い、新規で8グループの登録があった。現在８９グループが活動中。 ・地域職域健康教室において、ラジオ体操指導を年4回行い（サポーターフォロアップ研修を除く）、1345人の参加があった。 ・ラジオ体操第1・第2実践講座を年2回開催し、41人が参加した。 ・ラジオ体操活動発表会を実施し、130人の参加があった。 ・ラジオ体操活動グループ訪問を計１０グループに対し行い、訪問の様子をホームページ及びラジオ体操グループ通信に掲載した。 ・ラジオ体操活動グループ通信を年2回発行し、ラジオ体操活動グループ代表に10部ずつ送付した。	→ → → →	・サポーターフォローアップ研修を年2回開催する。 ・ラジオ体操活動グループ登録、活動発表会は継続して実施する。 ・訪問希望のあったラジオ体操活動グループを訪問し、訪問の様子をホームページやラジオ体操グループ通信に掲載する。 ・各種教室においてラジオ体操の啓発、ラジオ体操活動グループの登録勧奨を行う。 ・地域職域健康教室でラジオ体操の啓発を行う。
・ヘルスメイト養成講座は今年度も引き続き開催する。 ・イオン横須賀店の一時閉店に伴い、健康フェアの開催については検討中。食育キャンペーンは多くの人に啓発できる良い機会のため、開催予定で検討を続けている。	→ →	・ヘルスメイト養成講座は全10回を実施し終了、受講者23名中、21名修了。令和元年度入会者12人。(合計現会員58名) ・内容を食育に限らず、歯科関連・未病関連・感染対策・ガン対策など幅広いテーマで普及啓発を行った。延べ1,239人が立ち寄ってくれた。	→ →	・ヘルスメイト会員増加目的に今年度も実施予定。 ・食育検討部会員のブースへの参加協力を依頼し関係部署と協力を図りながら、今年度も実施する。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表
取り組みの分野：健康づくりを目的としたネットワーク
（１）健康づくりの発信源としてのボランティアの育成
（２）地域健康づくりネットワークへの取り組み

（1)-2） （2)-1）	介護予防サポーターの活用（●） 地域健康教育、講座の実施（●■）			令和元年度取組についての担当課全体評価	B：概ね計画通りできた
番号	事業名	事業内容	担当課	担当課評価理由	・新型コロナウイルス感染症の影響により、延期および中止され、計画に満たない事業もあったが、概ね例年通り実施できた。
② ⑧	地域介護予防活動支援事業	・介護予防サポーターの育成及び活動支援 ・地域からの依頼による介護予防に関する講座の実施 ・地域包括支援センターによる介護予防に関する講座の実施	健康長寿課（旧高齢福祉課）	課題と今後の方向(改善案)	・各事業共に、引き続き継続して実施する。 ・ふれあい地域健康教室は、昨年度に引き続き計画を大きく上回る実績だったため、計画を見直し回数、人数共に増やした。

令和元年度計画		令和元年度実績		令和２年度計画
・（地域）地域の底力アップ教室　10回　300人 ・（地域）地域型介護予防教室　290回　延5,800人 ・（地域）ふれあい地域健康教室　35回　延1,000人 ・（地域）介護予防サポーター養成講座　２コース　実100人 ・（地域）介護予防サポーターフォローアップ研修　約500人 ・（地域）地域型介護予防サポーター養成講座　3コース　実120人	→ → → → → →	・（地域）地域の底力アップ教室　8回　147人 ・（地域）地域型介護予防教室　239回　延4,524人 ・（地域）ふれあい地域健康教室　46回　1,356人 ・（地域）介護予防サポーター養成講座　2コース　実23人 ・（地域）介護予防サポーターフォローアップ研修　延341人 ・（地域）地域型介護予防サポーター養成講座　２コース　実51人 ＊新型コロナウイルス感染症の影響により、2月後半以降の教室は中止しました。	→ → → → → →	・（地域）地域の底力アップ教室　10回　300人 ・（地域）地域型介護予防教室　290回　延5,800人 ・（地域）ふれあい地域健康教室　50回　1,500人 ・（地域）介護予防サポーター養成講座 １コース　実50人 ・（地域）介護予防サポーターフォローアップ研修　約500人 ・（地域）地域型介護予防サポーター養成講座　３コース　実120人 ＊新型コロナウイルス感染症の影響により、実施回数および定員に変更がある場合があります。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表
取り組みの分野：健康づくりを目的としたネットワーク
（１）健康づくりの発信源としてのボランティアの育成
（２）地域健康づくりネットワークへの取り組み

（2)-1）	地域健康教育、講座の実施（●■）			令和元年度取組についての担当課全体評価	B：概ね計画通りできた
番号	事業名	事業内容	担当課	担当課評価理由	各種教室は、2月20日以降コロナ感染症予防のため開催を中止した。それまでは予定回数を実施することができた。
④	周産期支援事業 母子健康教育指導事業	・妊娠期から子育て期の各種教室の実施 ・地域からの依頼による健康教育の実施	こども健康課	課題と今後の方向(改善案)	各事業は引き続き継続して行う。

令和元年度計画		令和元年度実績		令和２年度計画
・妊娠期から子育て期の各種教室などにおいて、妊婦や母親同士の情報交換や交流、相談の機会を継続して提供する。 ・地域からの依頼による健康教育を継続して実施する。	→	・プレママプレパパ教室27回延べ606人が参加（平日11回/203人、土曜日18回/403人）、妊産婦サロン38回、出張型妊産婦サロン18回、対象別妊産婦サロン（高齢妊産婦対象）11回、育はぐ教室（６～１０か月の親子を対象）58回の中で、母親同士の刻流を図り、仲間づくりの機会とした。 ・地域からの依頼による子育て支援の健康教育を293回実施した。	→	・妊娠期から子育て期の各種教室などにおいて、妊婦や母親同士の情報交換や交流、相談の機会を継続して提供する。 ・地域からの依頼による健康教育を継続して実施する。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表
取り組みの分野：健康づくりを目的としたネットワーク
（１）健康づくりの発信源としてのボランティアの育成
（２）地域健康づくりネットワークへの取り組み

（2)-1）	地域健康教育、講座の実施（●■）			令和元年度取組についての担当課全体評価	B：概ね計画通りできた
番号	事業名	事業内容	担当課	担当課評価理由	・予定していた計画はすべて実行することができた。
⑤	コミュニティセンター運営管理事業	・コミュニティセンターにおける各種講座の実施	地域コミュニティ支援課 各行政センター	課題と今後の方向(改善案)	・参加者アンケートにおいて、高い評価を得ており、地域の健康増進の一助となっていると考えられる。 ・今後も引き続き事業を実施していきたい。

令和元年度計画		令和元年度実績		令和２年度計画
・生涯現役という観点から高齢者教室の内容を充実させる。引き続き高齢福祉課の介護予防事業と連携し、生涯現役講座を9コミュニティセンターで開催する。 ・家庭教育学級においても引き続き内容の充実と参加者増加に努める。	→ →	各コミュニティセンターの高齢者学級と高齢福祉課の介護予防事業を連携させ、生涯現役講座として９コミュニティセンターで実施した。88回実施し、参加者は2,479名 ・家庭教育学級では、親子などを対象とした講座を実施し、多数の参加があった。49回実施し、参加者は1,307名 参加者アンケートにおいて、「参考になった」「生活に取り入れたい」といった感想をいただけた。	→ →	・生涯現役という観点から高齢者教室の内容を充実させる。引き続き健康長寿課の介護予防事業と連携し、生涯現役講座を9コミュニティセンターで開催する。 ・家庭教育学級においても引き続き内容の充実と参加者増加に努める。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表
取り組みの分野：健康づくりを目的としたネットワーク
（１）健康づくりの発信源としてのボランティアの育成
（２）地域健康づくりネットワークへの取り組み

（2)-1）	地域健康教育、講座の実施（●■）			令和元年度取組についての担当課全体評価	A：計画通りできた
番号	事業名	事業内容	担当課	担当課評価理由	高齢化の進展と、人生100年時代という社会状況を踏まえ、長い人生を健康に過ごすための健康づくりの一助となる講座を実施した。
⑥	生涯学習センター運営管理事業	・各種講座、市民大学の開催	生涯学習課	課題と今後の方向(改善案)	講座単発で終わるのではなく、今後も関心を持ち続けてもらうきっかけとすることも重要と考える。そのために、健康増進に関する講座の情報を収集して提供し、継続して学んだり実践したりする機会につなげることができればと考える。

令和元年度計画		令和元年度実績		令和２年度計画
・生涯学習センター指定管理事業において、市民大学（50講座以上）を含む各種講座を実施する。	→	・市民大学を年間56回講座実施した。	→	・新型コロナウィルス感染拡大防止対策の状況に応じ、生涯学習センター指定管理事業において、市民大学を含む各種講座を実施する。
・市民大学などにおいて、健康に関する講座を実施する。	→	・身体の健康に関する講座は、市民大学において、神奈川県立保健福祉大学、かながわ衛生学園専門学校の協力を得た講座を全３講座実施した。 実施した講座の内容と参加者数 ・東洋医学で実践する〝健康の秘訣〟いつまでも元気でいるヒントを学びましょう！／115人 ・人生100年時代を生きる　シニアの健康管理 ～未病改善に向けて～／136人 ・食事で介護予防！～認知症と骨粗しょう症を上手に予防しましょう～／119人	→	・実施可能であれば、市民大学などにおいて、健康に関する講座を実施する。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表
取り組みの分野：健康づくりを目的としたネットワーク
（１）健康づくりの発信源としてのボランティアの育成
（２）地域健康づくりネットワークへの取り組み

（2)-4）	スポーツ推進委員の活用（●）			令和元年度取組についての担当課全体評価	B：概ね計画通りできた
番号	事業名	事業内容	担当課	担当課評価理由	概ね計画通りできたが、よこすかスポーツフェスタ2019が台風のため中止となったため。
⑪	新体カテスト測定員養成事業	・新体カテスト測定員講習会の実施 ・学校へのスポーツ推進委員の派遣 ・スポーツフェスタの開催	スポーツ振興課	課題と今後の方向(改善案)	新体カテスト測定員の派遣希望校が年々増えているので、派遣できる測定員を確保していく。

令和元年度計画		令和元年度実績		令和２年度計画
＜新体カテスト測定員講習会の実施＞ ・平成31年5月18日（土）に新体カテスト測定員講習会を開催予定。 ＜学校へのスポーツ推進委員の派遣＞ ・5月から6月にかけて、新体カテスト測定員を市内の希望する小学校へ派遣する予定。 ＜スポーツフェスタの開催＞ ・平成31年10月14日（月・祝）によこすかスポーツフェスタ2019を開催し、北体育会館等において、スポーツ推進委員が役員となって新体カテストの測定を行う予定。	→ → →	＜新体カテスト測定員講習会の実施＞ ・令和元年5月18日（土）19日（日）の２日間に新体カテスト測定員講習会を開催。参加者37名 ＜学校へのスポーツ推進委員の派遣＞ ・5月から6月にかけて、新体カテスト測定員を市内の希望する小学校へ派遣。28校に41人、延べ113回派遣 ＜スポーツフェスタの開催＞ ・令和元年10月14日（月・祝）に開催予定だったよこすかスポーツフェスタ2019は台風のため中止となった。	→ → →	＜新体カテスト測定員講習会の実施＞ ・令和３年２月13日（土）に新体カテスト測定員講習会を開催予定。 ＜学校へのスポーツ推進委員の派遣＞ ・5月から6月にかけて、新体カテスト測定員を市内の希望する小学校へ派遣する予定。 ＜スポーツフェスタの開催＞ ・令和２年10月３日（土）によこすかスポーツフェスタ2020を開催し、スポーツ推進委員が役員となって新体カテストの測定を行う予定。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：食育

１） ２） ４） ８） ９）	健康づくり教室や食育教室の実施（■） １人で食事をするこどもを減らす取り組み（■） 食育に関する情報の提供（■） よく噛んで味わって食べるなどの食べ方の啓発（■） 農業体験を経験する機会の提供（■）	令和元年度取組についての担当課全体評価	B：概ね計画通りできた

番号	事業名	事業内容	担当課		
① ⑤ ⑧ ⑯ ⑳	食育活動 食指導 園内菜園	・食育パフォーマンスの実施 ・食事のおたよりの配布 ・毎日の給食時に保育士等による食指導および共食 ・依頼による食育講話の実施 ・園内菜園の実施	保育課（旧保育運営課）	担当課評価理由	園児にとって身近な題材をテーマにした取り組みができた
				課題と今後の方向(改善案)	より園の行事と連動して取り組んでいく

令和元年度計画		令和元年度実績		令和２年度計画
・食育パフォーマンスの実施	→	・園児を対象とした食育パフォーマンスの実施　8園 テーマ：しょくじのおはなしかい（だしで味わう和食の日）	→	・食育パフォーマンスの実施
・食事のおたよりの配布	→	・食事のおたよりの配布　認可、認可外保育施設77施設へ毎月送付	→	・食事のおたよりの配布
・毎日の給食時に保育士等による食指導および共食	→	・毎日の給食時に保育士等による食指導および共食　毎食実施、園独自の食育活動	→	・毎日の給食時に保育士等による食指導および共食
・依頼による食育講話の実施	→	・依頼による食育講話の実施　保護者にむけての食育講話実績なし	→	・依頼による食育講話の実施
・園内菜園の実施	→	・園内菜園の実施し給食で取り入れる	→	・園内菜園の実施
・ヘルスメイトによる和食文化「はしについて」講話と実演	→	・ヘルスメイトによる和食文化「はしについて」講話と実演　４園 ・幼児のクッキング講座「中国の食文化にふれよう～餃子～」　１園(森崎保育園)	→	・ヘルスメイトによる和食文化「はしについて」講話と実演

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：食育

<table>
<tr><td>1）
2）
4）
8）</td><td colspan="3">健康づくり教室や食育教室の実施（■）
１人で食事をするこどもを減らす取り組み（■）
食育に関する情報の提供（■）
よく噛んで味わって食べるなどの食べ方の啓発（■）</td><td>令和元年度取組についての担当課全体評価</td><td>C：計画通りできなかった</td></tr>
<tr><td>番号</td><td>事業名</td><td>事業内容</td><td>担当課</td><td rowspan="2">担当課評価理由</td><td rowspan="2">新型コロナウィルス感染拡大防止のための市主催イベントの開催可否の判断により、乳幼児健診、各種教室が一部中止となったため。</td></tr>
<tr><td>②
⑥
⑨
⑰</td><td>周産期支援事業
母子健康教育指導事業
訪問指導
母子健康診査事業</td><td>・妊娠期から子育て期における乳幼児健診、相談、訪問、教室の実施
・地域からの依頼による健康教育の実施</td><td>こども健康課</td></tr>
<tr><td colspan="4"></td><td>課題と今後の方向(改善案)</td><td>乳幼児健診や各種教室で配信している内容をウェブサイトで発信する一方、電話相談等で個別対応を心掛け、実施した。</td></tr>
</table>

令和元年度計画		令和元年度実績		令和２年度計画
・妊娠期から乳幼児期に必要な食の情報提供、よく噛んで食べる食べ方等について普及啓発する。 ・ホームページやすかりぶを活用して母子保健に関する食の情報提供を継続して行う。	→ →	・妊娠期から乳幼児期に必要な食の情報提供、よく噛んで食べる食べ方等について普及啓発を行った。 ・ホームページやSNSを利用したツイートや動画配信を行い、閲覧数などの状況確認の検討を行った。	→	・乳幼児健診や各種教室等において、授乳・離乳の支援ガイド改定に伴う最新の情報を発信する。 　また、共食の重要性、妊娠期から乳幼児期に必要な食の情報提供、よく噛んで食べる食べ方等について普及啓発を引き続き行う。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：食育

1） 3） 4） 7） 8） 10）	健康づくり教室や食育教室の実施（■） 栄養成分表示の活用方法の普及（■） 食育に関する情報の提供（■） よこすかＥ表示メニュー設置店、普及協力店を増やす取り組み（■） よく噛んで味わって食べるなどの食べ方の啓発（■） 食の循環や環境を意識した食育の推進（■）			令和元年度取組についての担当課全体評価	B：概ね計画通りできた
番号	事業名	事業内容	担当課	担当課評価理由	・新型コロナウイルスの影響で、中止になった事業もあったが、それ以外の予定していた事業はすべて実施することが出来きた。 ・昨年に引き続き、6月に市役所展示コーナーにて食育に関する展示を行い、普及啓発を行った。 ・「よこすかE表示」登録件数は目標値の90%を超えている。
③ ⑦ ⑪ ⑮ ⑱ ㉒	健康づくり推進事業 健康食生活推進事業 健康教育事業	・食育推進教室の実施 ・地域、職域からの依頼による健康教育の実施 ・ヘルスメイトによる委託事業の実施 ・食品衛生責任者講習会および巡回での説明の実施 ・外食の栄養成分表示を上手に活用するための教室の実施 ・ポスター・ちらし・市ホームページを利用した普及啓発 ・食育推進キャンペーンの実施 ・食品ロスの削減を推進するための講座等の実施	保健所健康づくり課（総務・健康増進担当）	課題と今後の方向(改善案)	・参加者が少ない教室についてはチラシ等で周知を行う。

令和元年度計画		令和元年度実績		令和２年度計画
・食育月間である6月に「食品ロス」をテーマに外部講師を招き、講話と調理実周習を開催する。	→	・福田かずみ氏を講師に迎え、「冷蔵庫収納から食品ロスを考える」をテーマに6月に講演会を開催(65人) 食品ロスをテーマとした調理実習の実施(19人)その他、食育に関する2つのテーマで調理実習を各2回、全4回実施(44人)	→	・食育を基本テーマとして、講演会・調理実習を行う。
・栄養成分表示を上手に活用し、生活習慣病予防を目的とした市民向け講習会を6月に実施する。	→	・栄養成分表示講習会を年1回実施。(32人)	→	・栄養成分表示を上手に活用し、生活習慣病予防を目的とした市民向け講習会を実施する。
・食事バランスガイドを活用し、より良い食生活へ導けるよう食事バランスガイド講習会を7月に実施する。	→	・食事バランスガイド講習会を年1回実施。(19人)	→	・食事バランスガイドを活用し、より良い食生活へ導けるよう食事バランスガイド講習会を実施する。
・「よこすかＥ表示」普及協力店へ引き続き掲示による、市民への周知協力依頼及び登録依頼の要請。	→	・「よこすかＥ表示」普及協力店314店舗登録。市ホームページに店舗名掲載(希望店のみ)。	→	・「よこすかＥ表示」普及協力店へ引き続き掲示による、市民への周知協力依頼及び登録依頼の要請。
・「よこすかＥ表示」メニュー設置店の店舗専用ポスター作成及び市民への周知協力依頼。	→	・「よこすかＥ表示」メニュー設置店11店舗登録。市ホームページに、店舗名・店舗専用ポスター掲載。「よこすかＥ表示」登録店については、令和元年度末に325店舗となり目標値の98.5%となる。	→	・「よこすかＥ表示」メニュー設置店の店舗専用ポスター作成及び市民への周知協力依頼。
・平成30年度に続き、6月に市役所展示コーナーにて食育展示を実施。	→	・6月に市役所展示コーナーにて食育展示を実施。市ホームページにて各教室の日程やレシピを掲載。	→	・6月に市役所展示コーナーにて食育展示を実施。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：食育

１） ４） ８）	健康づくり教室や食育教室の実施（■） 食育に関する情報の提供（■） よく噛んで味わって食べるなどの食べ方の啓発（■）	令和元年度取組についての担当課全体評価	B：概ね計画通りできた

番号	事業名	事業内容	担当課		
④ ⑫ ⑲	地域介護予防活動支援事業 介護予防普及啓発事業	・地域からの依頼による介護予防に関する講座の実施 ・介護予防に関する知識の普及と教室の実施	健康長寿課（旧高齢福祉課）	担当課評価理由	・新型コロナウイルス感染症の影響により、延期および中止され、計画に満たない事業があった。 ・参加人数の少ない教室については、積極的にチラシを配布し集客に努めた。
				課題と今後の方向(改善案)	・「のみこみらくらく教室」「小食の方のための栄養教室」は、令和元年度で終了となる。この教室の内容は、継続する他教室へ少しずつ盛り込みながら行いたい。 ・「専門職が行く！健康長寿のコツ」は、フレイル予防事業に組み替えた。

令和元年度計画		令和元年度実績		令和２年度計画
・（地域）ふれあい地域健康教室　35回　延1,000人 ・（普及）男性料理　１日コース×６会場　定員20人 ・（普及）女性のための料理教室　1日コース×2会場　定員20人 ・（普及）のみこみらくらく教室（栄養・歯科） ２日コース×３会場　　定員１５人 ・（普及）シニアのための栄養講座　１日コース×８会場　定員20人　シニアのための栄養講座（実践編）1日コース×3会場　定員20人 ・（普及）小食の方のための栄養教室　１日コース×３会場　定員２０人 ・（普及）生涯現役講座（コミュニティーセンターと連携） 1回×９コミセン ・（普及）専門職が行く！健康長寿のコツ（複合）　1日コース×12会場　定員20人×5会場＋30人×1会場＋35人×6会場	→ → → → → → → →	・（地域）ふれあい地域健康教室　46回　　延1,356人 ・（普及）男性料理　6回　107人 ・（普及）女性のための料理教室　2回　31人 ・（普及）のみこみらくらく教室（栄養・歯科） 6回　延36人 ・（普及）シニアのための栄養講座　　6回　延66人 （普及）シニアのための栄養講座（実践編） 3回　延41人 ・小食の方のための栄養教室　3回　延19人 ・生涯現役講座（コミュニティセンターと連携） （栄養のみ）9回　延267人 ・専門職が行く！健康長寿のコツ（複合）11回　延156人 ＊新型コロナウイルス感染症の影響により、2月後半以降の教室は中止しました。	→ → → → →	・（地域）ふれあい地域健康教室　50回　延1,500人 ・（普及）男性料理　1日コース×8会場　定員20人 ・（普及）女性のための料理教室 1日コース×3会場　定員20人 ・（普及）シニアのための栄養教室 1日コース×8会場　定員20人 ※ 令和２年度からは、他の調理実習に（実践編）の内容も盛り込んで実施する方向で、業務を見直し実施しないこととした。 ・生涯現役講座（コミュニティセンターと連携） 1回×9コミュニティセンター ＊新型コロナウイルス感染症の影響により、実施回数および定員に変更がある場合があります。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：食育

4） 5） 11）	食育に関する情報の提供（■） 学校給食での地産地消の推進（■） 学校における食育の推進（■）	令和元年度取組についての担当課全体評価	B：概ね計画通りできた

番号	事業名	事業内容	担当課		
⑩ ⑬ ㉔ ㉕	学校保健関係指導	・夏季研修講座「食育」、食指導研修 ・給食だより等による意識啓発 ・学校給食での地場産物の使用の推進 （統一献立および自校献立） ・「食に関する指導の全体計画」の策定、実施 ・「給食時間マニュアル」に基づいた給食指導の実践 ・関連各教科における食に関する指導（栄養教諭等の活用も含め）の実践 ・中学校完全給食の開始に合わせた、中学校教職員への研修の充実 ・給食センターを活用した食育の取り組みの検討	保健体育課	担当課評価理由	・計画中の事業について、目標値に達しなかった事業もあったが、予定通り概ね実施することができた。
				課題と今後の方向(改善案)	・市立学校食育担当者会（６月実施予定）において、栄養教諭による食に関する指導の実践報告を行う場を設定する。 ・中学校完全給食実施に向けて、中学校における給食指導の在り方や教職員向け研修会の実施、情報発信等について検討を行う。（中学校完全給食課題対策ワーキングチームの定期開催）

令和元年度計画		令和元年度実績		令和２年度計画
・引き続き食育研修を、夏季研修講座に位置付け、継続して基準献立予定表、給食だより、食育だより等の発行を行っていく。	→	・学校保健夏季研修講座（食育）を７月29日（月）に教職員を対象に実施し、102名が参加。規準献立予定表・給食だより・食育だよりを月１回程度発行。	→	・引き続き食育研修を、夏季研修講座に位置付け、継続して基準献立予定表、給食だより、食育だより等の発行を行っていく。
・統一献立における地場産物の使用割合を15.4%以上を目指していく。	→	・統一献立では193回献立を作成し、運動会振替・遠足を除き190回喫食。統一献立における地場産物の使用割合は、13.3%	→	・統一献立における地場産物の使用割合を15.4%以上を目指していく。
・食育の推進体制づくりを支援するため、市立学校食育担当者会議を開催する。	→	・第１回目を６月５日（水）、第２回目の担当者会を２月21日（金）にそれぞれ実施。	→	・食育の推進体制づくりを支援するため、市立学校食育担当者会議を開催する。
・給食時間の準備から後片付けまでの活動を通して、担任が計画的・継続的な指導を行うことにより児童に望ましい食習慣と食に関する実践力を身に付けさせるために、「給食時間マニュアル」を市内全小学校で実施し、指導の充実を図る。	→	・市内小学校全校で「給食時間マニュアル」に基づく給食指導を継続して実施。	→	・給食時間の準備から後片付けまでの活動を通して、担任が計画的・継続的な指導を行うことにより児童に望ましい食習慣と食に関する実践力を身に付けさせるために、「給食時間マニュアル」を市内全小学校で実施し、指導の充実を図る。
・中学校完全給食課題対策ワーキングチームによる具体的課題についての検討。（給食時間マニュアルの中学校版の作成、教職員向け研修内容の精査、情報発信等）	→	・中学校完全給食課題対策ワーキングチームを開催。（12月23日開催） ・給食時間マニュアル（中学校版）の検討と案の作成および「中学校完全給食通信」を年１回７月に発行し、教職員対象に配布。	→	・中学校完全給食課題対策ワーキングチームによる具体的課題についての検討。（給食時間マニュアルの中学校版の作成、教職員向け研修内容の精査、情報発信等）

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：食育　　修正

６）	食の安全性の普及啓発（■）			令和元年度取組についての担当課全体評価	Ｃ：計画通りできなかった
番号	事業名	事業内容	担当課	担当課評価理由	・市施設を利用したイベントは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。
⑭	食品衛生事業	・食のセミナーおよび食品衛生講習会開催	保健所生活衛生課	課題と今後の方向(改善案)	・各事業は引き続き継続して実施する。 ・各事業とも周知等を行い、さらに参加者を増やすよう努めたい。

令和元年度計画		令和元年度実績		令和２年度計画
・市民向け食品衛生講習会を開催	→	・市民向け食品衛生講習会を開催 実施回数：５回 テ ー マ ：食品衛生、食中毒予防、食品衛生監視指導計画（案）について 参加人数：90人	→	・市民向け食品衛生講習会を開催
・食のセミナーを令和２年3月開催	→	・食のセミナー　令和２年3月4日　中止	→	・食のセミナーを令和２年3月開催

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：食育

９）	農業体験を経験する機会の提供（■）			令和元年度取組についての担当課全体評価	
番号	事業名	事業内容	担当課	担当課評価理由	予定していた計画はすべて、実施で進めていたが荒天のため中止になったため、未評価とする。
㉑	地産地消推進事業	・農業体験の実施（児童対象） ・親子酪農体験の実施（児童・保護者対象）	農業振興課	課題と今後の方向(改善案)	農業体験は、参加者からの満足度が高く、農業者との交流を通じて横須賀の農業への理解を深める事業として重要であるため、引き続き継続していく。親子酪農体験は実施せず、畜産関係PRイベントに企画内容を見直す。

令和元年度計画		令和元年度実績		令和２年度計画
・農業体験 年２回実施予定 （夏季・冬季に小学校５・６年生　各回50人対象に実施予定） ・親子酪農体験 実施は未定。実施方法等を見直す予定。	→ →	・農業体験 令和元年7月6日開催　参加予定人数47人 ／ 令和２年１月18日開催　参加予定人数53人 ※いずれも、荒天のため中止 ・すかなごっそで乳しぼり体験 ※令和２年３月開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症によるイベント自粛のため中止	→ →	・農業体験 年１回実施予定 （冬季に小学校５・６年生　50人対象に実施予定） ・畜産関係PRイベント 乳しぼり体験、パネル展示などを予定。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：食育

10）	食の循環や環境を意識した食育の推進（■）			令和元年度取組についての担当課全体評価	A：計画通りできた
番号	事業名	事業内容	担当課	担当課評価理由	予定していた計画はすべて実施することができた。
㉓	減量化・資源化啓発事業	・子どもごみ教室（小・中・高校生対象）及びごみトーク（出前トーク、町内会等対象）での啓発 ・ポスター等による食品ロス削減の啓発	資源循環推進課	課題と今後の方向(改善案)	当課でのポスター作製の予算が削られたため他の啓発方法の検討が必要

令和元年度計画		令和元年度実績		令和２年度計画
・子どもごみ教室（保育園、幼稚園、小・中・高校生対象）での啓発 ・ごみトーク（出前トーク、町内会等対象）での啓発 ・ごみ問題学習会（町内会等対象）での啓発 ・アイクルフェア等イベントでの啓発	→ → → →	・子どもごみ教室 43回 2,843名参加（小学校24校幼稚園2園） ・ごみトーク　275回 11,516名参加 ・ごみ問題学習会　7回128名参加 ・ごみ問題学習会　3回258名参加 ポスターの制作は予算の削減により実施できなかったため、神奈川県が製作した食品ロス削減啓発ポスターを庁内及び各行政センターへ掲示。 併せて、若い世代への啓発として、保育園41か所と幼稚園37か所にポスターの掲示依頼を行った。	→ → → →	引き続き、ごみトークやごみ問題学習会等の催し物での啓発 ・子どもごみ教室（保育園、幼稚園、小・中・高校生対象）での啓発 ・ごみトーク（出前トーク、町内会等対象）での啓発 ・ごみ問題学習会（町内会等対象）での啓発 ・アイクルフェア等イベントでの啓発 食品ロスのホームページをより伝わるよう編集し、インターネットを媒体とした啓発を行う

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：栄養と食生活
（１）ライフステージにあわせた適正体重を維持するための取り組み

(1)-1) (1)-2) (1)-3) (1)-4)	栄養や運動に関する知識の普及啓発、各種講座の実施（●■） バランスよく（主食・主菜・副菜を摂取することの必要性など）、３食食べることの知識の普及啓発（●■） 食事バランスガイドなどの活用方法の普及（●■） 各種講座の実施（●■）	令和元年度取組についての担当課全体評価	B：概ね計画通りできた

番号	事業名	事業内容	担当課		
① ⑤ ⑩ ⑭	健康診断 食育活動 調理員講習会	・内科健診の実施 ・食事のおたよりの配布や食育パフォーマンスの実施 ・保育園調理員を対象とした調理講習会の実施	保育課（旧保育運営課）	担当課評価理由	園児にとって身近な題材をテーマにした取り組みができた
				課題と今後の方向(改善案)	より園の行事と連動して取り組んでいく

令和元年度計画		令和元年度実績		令和２年度計画
・内科健診の実施	→	・内科健診の実施　0～２歳児は毎月実施　３～５歳児は年３回実施 公立保育園10園805人（適正体重728人、肥満60人、やせ17人）範囲外の割合9.6%。	→	・内科健診の実施
・食事のおたよりの配布	→	・食事のおたよりの配布　認可、認可外保育施設77施設へ毎月送付	→	・食事のおたよりの配布
・食育パフォーマンスの実施	→	・園児を対象とした食育パフォーマンスの実施　8園	→	・食育パフォーマンスの実施
・保育施設調理員を対象とした調理講習会の実施	→	・保育施設調理員を対象とした調理講習会の実施	→	・保育施設調理員を対象とした調理講習会の実施

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：栄養と食生活
（１）ライフステージにあわせた適正体重を維持するための取り組み

(1)-1) (1)-2) (1)-3) (1)-4)	栄養や運動に関する知識の普及啓発、各種講座の実施（●■） バランスよく（主食・主菜・副菜を摂取することの必要性など）、３食食べることの知識の普及啓発（●■） 食事バランスガイドなどの活用方法の普及（●■） 各種講座の実施（●■）	令和元年度取組についての担当課全体評価	C：計画通りできなかった

番号	事業名	事業内容	担当課		
② ⑥ ⑪ ⑮	周産期支援事業 母子健康教育指導事業 訪問指導 母子健康診査事業	・妊娠期から子育て期における乳幼児健診、相談、訪問、り教室の実施 ・地域からの依頼による健康教育の実施	こども健康課	担当課評価理由	新型コロナウィルス感染拡大防止のための市主催イベントの開催可否の判断により、乳幼児健診、各種教室が一部中止となったため。
				課題と今後の方向(改善案)	乳幼児健診や各種教室で配信している内容をウェブサイトで発信する一方、電話相談等で個別対応を心掛け、実施した。

令和元年度計画		令和元年度実績		令和２年度計画
妊娠期から子育て期における乳幼児健診、相談、訪問、教室においてバランスよく3食食てべることの知識の普及を継続して行う。	→	乳幼児健診や周産期教室、離乳食や幼児期食育教室、育児相談などでパンフレットなどを活用し、バランスよく３食食べることの知識の普及を行った。 地域依頼による栄養に関する健康教育 （６回延102人） プレママ・プレパパ栄養教室（8回延33人） 楽しいマタニティクッキング（11回延50人） 離乳食スタート教室（41回延487人） 離乳食ｽﾃｯﾌﾟｱｯﾌﾟ教室（24回延310人） 10か月からの食事と歯の教室（21回延201人） 幼児食スタート教室（13回延91人） 幼児食ｽﾃｯﾌﾟｱｯﾌﾟ教室（1回延10人） 4.5歳児食育歯みがき教室（16回1,591人） いずれも新型コロナウイルス感染症の影響により、２月後半以降の教室は中止しています。 このため、ホームページからの情報発信を意識しました。	→	・妊娠期から子育て期における乳幼児健診、相談、訪問、教室において、保護者の習慣を含めバランスよく3食食べることの知識の普及を、継続して行う。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：栄養と食生活
（１）ライフステージにあわせた適正体重を維持するための取り組み

(1)-1) (1)-2) (1)-3) (1)-4)	栄養や運動に関する知識の普及啓発、各種講座の実施（●■） バランスよく（主食・主菜・副菜を摂取することの必要性など）、３食食べることの知識の普及啓発（●■） 食事バランスガイドなどの活用方法の普及（●■） 各種講座の実施（●■）			令和元年度取組についての担当課全体評価	A：計画通りできた
番号	事業名	事業内容	担当課	担当課評価理由	8月31日野菜の日に食育推進キャンペーンを実施。例年より広い会場をお借りし、食育以外のブースも設置した。
③ ⑧ ⑫ ⑯	健康づくり推進事業 健康食生活推進事業 健康教育事業	・各種健康教室の実施 ・食育推進教室の実施 ・地域や職域からの依頼による健康教育の実施 ・職域との連携による健康教育の実施 ・ポスター・ちらし・市ホームページを利用した普及啓発 ・ヘルスメイトによる委託事業の実施 ・食育推進キャンペーンの実施	保健所健康づくり課（総務・健康増進担当）	課題と今後の方向(改善案)	・各事業については引き続き実施予定。

令和元年度計画		令和元年度実績		令和２年度計画
・健康フェアはイオン横須賀店一時閉店につき実施について検討中。食育キャンペーンの開催内容を整理し、8月頃の実施に向けて準備を行う。	→	・8月31日は野菜の日にちなんで、イオン久里浜店に於いて食育推進キャンペーンを開催。 食育(主に野菜をテーマにしたもの)、未病、歯科衛生、がん対策、感染症対策など、他部署の協力を得て様々なテーマで普及啓発を行った。延べ1,239人の参加があった。	→	・食育推進キャンペーンは関係部署からの参加を募り、引き続き開催予定。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：栄養と食生活
（１）ライフステージにあわせた適正体重を維持するための取り組み

(1)-1) (1)-2) (1)-3) (1)-4)	栄養や運動に関する知識の普及啓発、各種講座の実施（●■） バランスよく（主食・主菜・副菜を摂取することの必要性など）、３食食べることの知識の普及啓発（●■） 食事バランスガイドなどの活用方法の普及（●■） 各種講座の実施（●■）	令和元年度取組についての担当課全体評価	B：概ね計画通りできた

番号	事業名	事業内容	担当課		
④ ⑨ ⑬ ⑰	介護予防普及啓発事業 地域介護予防活動支援事業 地域リハビリテーション活動支援事業	・介護予防に関する知識の普及のための訪問、教室の実施 ・地域包括支援センターによる介護予防に関する講座の実施 ・地域からの依頼による介護予防に関する講座の実施	健康長寿課（旧高齢福祉課）	担当課評価理由	・新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年2月より実施できない事業があった。 ・積極的にチラシ配布を行うなど集客に努めた。
				課題と今後の方向(改善案)	・「のみこみらくらく教室」「小食の方のための栄養教室」は、令和元年度で終了となる。この教室の内容は、継続する他教室へ少しずつ盛り込みながら行いたい。 ・「専門職が行く！健康長寿のコツ」は、フレイル予防事業に組み替えた。

令和元年度計画		令和元年度実績		令和２年度計画
・（地域）ふれあい地域健康教室　35回　延1,000人 ・（普及）男性料理　１日コース×６会場　定員20人 ・（普及）女性のための料理教室　1日コース×2会場　定員20人 ・（普及）のみこみらくらく教室（栄養・歯科） ２日コース×３会場　　定員１５人 ・（普及）シニアのための栄養講座　１日コース×８会場　定員20人　シニアのための栄養講座（実践編）1日コース×3会場　定員20人 ・（普及）小食の方のための栄養教室　１日コース×３会場　定員２０人 ・（普及）生涯現役講座（コミュニティーセンターと連携）1回×９コミセン ・（普及）専門職が行く！健康長寿のコツ（複合）　1日コース×12会場　定員20人×5会場＋30人×1会場＋35人×6会場	→ → → → → → →	・（地域）ふれあい地域健康教室　46回　延1,356人 ・（普及）男性料理　6回　107人 ・（普及）女性のための料理教室　2回　31人 ・（普及）のみこみらくらく教室（栄養・歯科） 6回　延36人 ・（普及）シニアのための栄養講座　6回　延66人 （普及）シニアのための栄養講座（実践編） 3回　延41人 ・（普及）小食の方のための栄養教室　3回　延19人 ・生涯現役講座（コミュニティセンターと連携） （栄養のみ）9回　延267人 ・専門職が行く！健康長寿のコツ（複合） 11回　延156人 ＊新型コロナウイルス感染症の影響により、2月後半以降の教室は中止しました。	→ → → → →	・（地域）ふれあい地域健康教室　50回　延1,500人 ・（普及）男性料理　1日コース×8会場　定員20人 ・（普及）女性のための料理教室 1日コース×3会場　定員20人 ・（普及）シニアのための栄養教室 1日コース×8会場　定員20人 ・生涯現役講座（コミュニティセンターと連携） 1回×9コミュニティセンター ＊新型コロナウイルス感染症の影響により、実施回数および定員に変更がある場合があります。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：栄養と食生活
（１）ライフステージにあわせた適正体重を維持するための取り組み

(1)-2)	バランスよく（主食・主菜・副菜を摂取することの必要性など）、３食食べることの知識の普及啓発（●■）			令和元年度取組についての担当課全体評価	B：概ね計画通りできた
番号	事業名	事業内容	担当課	担当課評価理由	・計画中の事業について、目標値に達しなかった事業もあったが、予定通り概ね実施することができた。
⑦	学校保健関係指導	・夏季研修講座「食育」、食指導研修 ・給食だより等による意識啓発	保健体育課	課題と今後の方向(改善案)	・市立学校食育担当者会議（6月実施予定）において、栄養教諭による食に関する指導の実践報告を行う場を設定する。 ・中学校完全給食実施に向けて、中学校における給食指導の在り方や教職員向け研修会の実施、情報発信等について検討を行う。（中学校完全給食課題対策ワーキングチームの定期開催）

令和元年度計画		令和元年度実績		令和２年度計画
・引き続き食育研修を、夏季研修講座に位置付け、継続して基準献立予定表、給食だより、食育だより等の発行を行っていく。	→	・教職員を対象に学校保健夏季研修講座（食育）を７月29日（月）に実施し、参加者は102名。規準献立予定表・給食だより・食育だよりを月１回程度発行。	→	・引き続き食育研修を、夏季研修講座に位置付け、継続して基準献立予定表、給食だより、食育だより等の発行を行っていく。
・統一献立における地場産物の使用割合を15.4%以上を目指していく。	→	・統一献立では193回献立を作成し、運動会振替・遠足を除き190回喫食。統一献立における地場産物の使用割合は、13.3%	→	・統一献立における地場産物の使用割合を15.4%以上を目指していく。
・食育の推進体制づくりを支援するため、市立学校食育担当者会議を開催する。	→	・第１回目を６月５日（水）、第２回目の担当者会を２月21日（金）にそれぞれ実施。	→	・食育の推進体制づくりを支援するため、市立学校食育担当者会議を開催する。
・給食時間の準備から後片付けまでの活動を通して、担任が計画的・継続的な指導を行うことにより児童に望ましい食習慣と食に関する実践力を身に付けさせるために、「給食時間マニュアル」を市内全小学校で実施し、指導の充実を図る。	→	・市内小学校全校で「給食時間マニュアル」に基づく給食指導を継続して実施。	→	・給食時間の準備から後片付けまでの活動を通して、担任が計画的・継続的な指導を行うことにより児童に望ましい食習慣と食に関する実践力を身に付けさせるために、「給食時間マニュアル」を市内全小学校で実施し、指導の充実を図る。
・中学校完全給食課題対策ワーキングチームによる具体的課題についての検討。（給食時間マニュアルの中学校版の作成、教職員向け研修内容の精査、情報発信等）	→	・中学校完全給食課題対策ワーキングチームを開催。（12月23日開催） ・給食時間マニュアル（中学校版）の検討と案の作成および「中学校完全給食通信」を年１回７月に発行し、教職員対象に配布。	→	・中学校完全給食課題対策ワーキングチームによる具体的課題についての検討。（給食時間マニュアルの中学校版の作成、教職員向け研修内容の精査、情報発信等）

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表
取り組みの分野：身体活動・運動
（１）ライフステージにあわせた日常生活（生活活動）の中で、身体活動を増やす取り組み
（２）ライフステージにあわせた体力の維持、向上を目的として計画的、意図的に実施する運動を増やす取り組み

(1)-1) (2)-1) (2)-2) (2)-3)	生活活動（労働、家事、通勤、通学など）を活用した身体活動量の増加の取り組み（●） ラジオ体操、ウオーキングなどの普及（●） 健康増進センター、運動施設（体育会館・プール）等の活用（●） 運動の各種教室等の実施（●）	令和元年度取組についての担当課全体評価	B：概ね計画通りできた

番号	事業名	事業内容	担当課		
① ③ ⑤ ⑦	健康づくり推進事業 健康教育事業	・各種健康教室の実施 ・地域、職域からの依頼による健康教育の実施 ・ポスター・ちらし・市ホームページを利用した普及啓発 ・ラジオ体操やウオーキングに関する教室、講習等の実施 ・健康増進センターと連携した健康教室の実施	保健所健康づくり課（総務・健康増進担当）	担当課評価理由	・計画通り、行うことができた。 ・広報よこすかの表示形式が変更になり、集客が難しかったため、機会をとらえて積極的にチラシを配布したり、報道機関に掲載依頼を行った。
				課題と今後の方向(改善案)	・運動教室への参加が少なかったため、次年度は内容をリニューアルする。 ・すこやかんとの連携事業は市の講演会や講座内容の実践講座になるようにメニューを組み、運動習慣を身に着ける人の増加を目指す。

令和元年度計画		令和元年度実績		令和２年度計画
・ウオーキング協会と共催で行う健康教育はH３１年度も継続して開催する予定。 ・従来のラジオ体操教室を見直し、ラジオ体操やウオーキングの実技を含めた運動教室を年10回コミセン等で開催する。 ・地域、職域からの依頼による健康教育を実施していく。 ・健康増進センターと連携して行う目的別教室を年4コース各回10回で開催する。 ・ウオーキングサインのちらしを講演会や教室等で配布し、啓発をはかるとともに、ホームページでも啓発を継続していく。	→ → → → →	・ウオーキング協会と共催で講話とウオーキングを組み合わせた健康教育を年2回行い、計47人が参加した。 ・ラジオ体操やウオーキングを取り入れた「運動をはじめる人のための教室」を年9回実施し（1回は新型コロナ感染症予防のため中止）、のべ73人が参加した。 ・地域職域健康教室において講話と運動指導を年2回実施し、延べ144人が受講した。 ・健康増進センターと連携して行う目的別教室を年3コース各10回開催した（1コースは新型コロナ感染症予防のため中止）。延べ507人が参加した。 ・ウオーキングサインのちらしを講演会や教室で配布し、啓発を行った。 ・ウオーキング講演会、ロコモ予防講座、ウオーキング講座を開催した。参加者数：ウオーキング講演会61人、ロコモ予防講座：71人、ウオーキング講座：年2回、延べ81人	→	・ウオーキング講演会（年1回）・ロコモ予防講座（年1回）・ウオーキング講座（年2回）・【新規】生活習慣病予防講演会（年1回）を開催する。 ・ウオーキング協会と共催で行う健康教育はR２年度も継続して開催予定。 ・【新規】病態別栄養教室のフォロー及び生活習慣病予防を目的とした病態別運動教室を年6回行う。 ・運動習慣を持つ人を増やすことを目的として、昨年度開催した「運動を始める人のための教室」をリニューアルし、「体も脳もすっきり楽らく運動教室」を年4回開催する。 ・地域、職域からの依頼による健康教育を実施していく。 ・健康増進センターと連携して行う目的別教室を年4コース各回10回で開催する。 ・ウオーキングサインのちらしを講演会や教室等で配布し、啓発をはかるとともに、ホームページでも啓発を継続していく。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表
取り組みの分野：身体活動・運動
（１）ライフステージにあわせた日常生活（生活活動）の中で、身体活動を増やす取り組み
（２）ライフステージにあわせた体力の維持、向上を目的として計画的、意図的に実施する運動を増やす取り組み

(2)-1) (2)-2) (2)-3)	ラジオ体操、ウオーキングなどの普及（●） 健康増進センター、運動施設（体育会館・プール）等の活用（●） 運動の各種教室等の実施（●）	令和元年度取組についての担当課全体評価	B：概ね計画通りできた

番号	事業名	事業内容	担当課		
② ④ ⑥	市民レクリエーション事業 学校体育施設開放奨励事業 体育会館管理委託、営繕工事 市民スポーツ教室事業	・夏休みを利用したラジオ体操の会の実施 ・ラジオ体操講習会の実施 ・学校体育施設の地域住民等への開放の実施 ・体育会館等の適正な維持管理、修繕 ・幼児から高齢者へスポーツの機会を提供するためのスポーツ教室の開催	スポーツ振興課	担当課評価理由	概ね計画通り実施できたが、新型コロナウイルスの関係で一部実施できなかった。
				課題と今後の方向(改善案)	スポーツ教室はウインドサーフィンの体験教室が今回新たに加わった。スポーツ教室の種目については、市民のニーズに対応できるように今後も検討していく。

令和元年度計画		令和元年度実績		令和２年度計画
＜夏休みを利用したラジオ体操の会の実施＞ ・ラジオ体操カード・精勤賞状を配布し、ラジオ体操の会実施のサポートを継続して行う。	→	＜夏休みを利用したラジオ体操の会の実施＞ ・ラジオ体操カード・精勤賞状を配布し、ラジオ体操の会実施のサポートを継続して行った。ラジオ体操カードは11,656枚、精勤賞は11,145枚配布	→	＜夏休みを利用したラジオ体操の会の実施＞ ・ラジオ体操カード・精勤賞状を配布し、ラジオ体操の会実施のサポートを継続して行う。
＜学校体育施設の地域住民等への開放の実施＞ ・学校体育施設開放奨励事業は小学校46校中学校23校計72施設の校庭と体育館において、地域住民への開放を行う。	→	＜学校体育施設の地域住民等への開放の実施＞ ・学校体育施設開放奨励事業は小学校46校中学校23校計72施設の校庭と体育館において、地域住民への開放を行った。	→	＜学校体育施設の地域住民等への開放の実施＞ ・学校体育施設開放奨励事業は小学校46校中学校23校計72施設の校庭と体育館において、地域住民への開放を行う。
＜体育会館等の適正な維持管理、修繕＞ ・2施設において大規模な営繕工事を予定している。	→	＜体育会館等の適正な維持管理、修繕＞ ・2施設において大規模な営繕工事。	→	＜体育会館等の適正な維持管理、修繕＞ ・2施設において大規模な営繕工事を予定している。
＜幼児から高齢者へスポーツの機会を提供するためのスポーツ教室の開催＞ ・20教室55コースを実施予定。 ＜ラジオ体操講習会＞ 平成31年度は、予算の確保ができず実施しない。他の啓発方法を検討していく。	→	＜幼児から高齢者へスポーツの機会を提供するためのスポーツ教室の開催＞ ・20教室53コースを実施。幼児～60歳以上で約3,000人が参加。２月～３月においては、新型コロナ関係で一部実施できなかった。	→	＜幼児から高齢者へスポーツの機会を提供するためのスポーツ教室の開催＞ ・18教室45コースを実施予定。（新型コロナウイルスの影響で予定が組めず、昨年度よりも減少）

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表
取り組みの分野：身体活動・運動
（１）ライフステージにあわせた日常生活（生活活動）の中で、身体活動を増やす取り組み
（２）ライフステージにあわせた体力の維持、向上を目的として計画的、意図的に実施する運動を増やす取り組み

⑵-3)	運動の各種教室等の実施（●）			令和元年度取組についての担当課全体評価	B：概ね計画通りできた
番号	事業名	事業内容	担当課	担当課評価理由	・新型コロナウイルス感染症の影響により、中止および延期になった教室もあったが、概ね計画通りできた。 ・介護予防普及啓発講演会は、話題の「認知的フレイル予防」について東京大学の先生にご講演いただき、神奈川歯科大学で開催したため、前年度より約30人参加者が増えた。
⑧	介護予防普及啓発事業 地域介護予防活動支援事業	・介護予防に関する知識の普及と運動習慣の増進を目的とした教室の実施 ・地域包括支援センターによる介護予防に関する講座の実施	健康長寿課（旧高齢福祉課）	課題と今後の方向(改善案)	・介護予防講演会は、今年度も神奈川歯科大学での開催を検討している。

令和元年度計画		令和元年度実績		令和２年度計画
・（普及）生涯現役フォーラム（介護予防普及啓発講演会）1回　500人	→	・（普及）生涯現役フォーラム（介護予防普及啓発講演会）1回　163人	→	・（普及）生涯現役フォーラム（介護予防普及啓発講演会）1回　500人
・（普及）生涯現役講座（コミュニティセンターと連携）9コミュニティセンター×１回	→	・（普及）生涯現役講座（コミュニティセンターと連携）（運動）9回　246人	→	・（普及）生涯現役講座（コミュニティセンターと連携）9コミュニティセンター×1回
・（普及）関節らくらく教室　4日コース×12会場　定員35人	→	・（普及）関節らくらく教室　39回　延910人	→	・（普及）関節らくらく教室 4日コース×12会場　定員35人
・（普及）骨密度アップ教室　6日コース×4会場　定員40人	→	・（普及）骨密度アップ教室　23回　延685人	→	・（普及）骨密度アップ教室 6日コース×４会場　定員40人
・（普及）専門職が行く！健康長寿のコツ（複合）　1日コース×12会場　定員20人×5会場＋30人×1会場＋35人×6会場	→	・（普及）専門職が行く！健康長寿のコツ（複合）11回　延156人	→	・（地域）地域型介護予防教室 290回　5,800人
・（地域）地域型介護予防教室　290回　5,800人	→	・（地域）地域型介護予防教室　239回　延4,524人 ＊新型コロナウイルス感染症の影響により、2月後半以降の教室は中止しました。		＊新型コロナウイルス感染症の影響により、実施回数および定員に変更がある場合があります。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表
取り組みの分野：休養・こころの健康
（１）活動と休養のバランスをとることの重要性の推進
（２）こころの健康づくり（自殺対策）の推進

(1)-1) (1)-2) (2)-1) (2)-2) (2)-3)	睡眠と生活習慣病は関連があるという知識の普及啓発（●） 生活リズムを整えることの重要性についての啓発（●） 相談窓口等の情報提供（●） 各種講座・講演等の実施（●） サポート体制の充実（ゲートキーパーの育成等）（●）	令和元年度取組についての担当課全体評価	B：概ね計画通りできた

番号	事業名	事業内容	担当課		
① ② ③ ④ ⑥	健康教育事業 精神保健対策事業	・生活習慣病と睡眠に関する健康教室の実施 ・地域からの依頼による健康教育の実施 ・職域との連携による健康教育の実施 ・休養に関する健康教室の実施 ・相談することの大切さについての啓発 ・相談機関を掲載した冊子の配布 ・ホームページ上に相談機関の掲載 ・自殺対策キャンペーンの実施 ・こころの病気に視点をおいた健康づくり教室の実施 ・講演会・研修会及び地域からの依頼による教室の実施	保健所健康づくり課（こころの健康担当）	担当課評価理由	新型コロナウイルス感染症により一部事業については、中止としたが、ほとんどの取組は予定通り実施することができ、適切な支援、知識の普及、相談窓口の周知、サポート体制の充実を図ることができたため。
				課題と今後の方向(改善案)	新型コロナウイルス感染症に関連し、こころのケア支援の必要性が増している。 悩みを抱えた方に対して十分なこころのケアができるよう、関係機関と連携して支援していく。

令和元年度計画		令和元年度実績		令和２年度計画
・横須賀市自殺対策計画の進行管理 ・自殺対策推進本部会議の開催 ・自殺対策推進課長会議の開催 ・自殺対策推進協議会の開催 ・自殺予防街頭キャンペーンの実施 ・「よこすか心ののホットライン」の配布 ・「よこすか心ののホットライン」ホームページ掲載 ・ゲートキーパー養成研修（初級・中級・上級）の開催 ・ゲートキーパー登録制度の実施 ・ハイリスク者支援連携会議の開催 ・こころの健康づくり教室の開催 ・地域依頼による教室の開催 ・自殺未遂者支援の実施 ・自死遺族分ち合いの会の開催 ・自死遺族個別相談会の開催 ・自死遺族対策研修会の開催 ・性的マイノリティ分かち合いの会の開催補助 ・自殺対策研修会の開催 ・包括相談会の開催 ・アウトリーチ包括相談の実施 ・自殺未遂者検討会の開催 ・昨年度に引き続き、地域や職域からの要望に応じて、休養に関する講話を実施していく。 ・生活習慣病と睡眠・休養に関する健康教育の実施	→	・横須賀市自殺対策計画の進行状況について各種会議で報告 ・自殺対策推進本部会議の開催（１回） ・自殺対策推進課長会議の開催（１回） ・自殺対策推進協議会の開催（１回） ・自殺予防街頭キャンペーンの実施（１日・２回） ・「よこすか心ののホットライン」の配布（10,642冊） ・「よこすか心ののホットライン」ホームページ掲載 ・ゲートキーパー養成研修の開催（初級２回延89人・中級１回26人・上級１回20人） ・ゲートキーパー登録制度の実施（101名） ・ハイリスク者支援連携会議の開催（１回） ・こころの健康づくり教室の開催（３回158人） ・地域依頼による教室の開催（２回90人） ・自殺未遂者支援の実施（新規51人） ・自死遺族分ち合いの会の開催（５回延9人）・自死遺族個別相談会の開催（12回3人）・自死遺族対策研修会の開催（１回6人） ・性的マイノリティ分かち合いの会の開催（12回延31人） ・自殺対策研修会の開催（1回29人） ・包括相談会の開催（１回2人）・アウトリーチ包括相談の実施（４件） ・自殺未遂者検討会の開催（２回） ・地域からの依頼により、生活習慣病と睡眠・休養の関係について、睡眠不足とうつとの関係についての健康教育を行った（5回・536人） ・健康増進センターとの連携事業（目的別教室）において休養と健康の関係についての講話を行った。（3回・44人、1回はコロナウイルス感染症拡大予防のため中止） ・健康情報便vol2に休養についての記事を掲載した。配布数は6880部（配布先：庁内各所・横須賀商工会議所・市内企業6社）	→	・横須賀市自殺対策計画の進行管理 ・自殺対策推進本部会議の開催 ・自殺対策推進課長会議の開催 ・自殺対策推進協議会の開催 ・自殺予防街頭キャンペーンの実施 ・「よこすか心ののホットライン」の配布 ・「よこすか心ののホットライン」ホームページ掲載 ・ゲートキーパー養成研修（初級・中級・上級）の開催 ・ゲートキーパー登録制度の実施 ・ハイリスク者支援連携会議の開催 ・こころの健康づくり教室の開催 ・地域依頼による教室の開催 ・自殺未遂者支援の実施 ・自死遺族分ち合いの会の開催 ・自死遺族個別相談会の開催 ・自死遺族対策研修会の開催 ・性的マイノリティ分かち合いの会の開催補助 ・自殺対策研修会の開催 ・包括相談会の開催 ・アウトリーチ包括相談の実施 ・自殺未遂者検討会の開催 ・昨年度に引き続き、健康教育事業の中で、また地域や職域からの要望に応じて、休養に関する講話を実施していく。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表
取り組みの分野：休養・こころの健康
（１）活動と休養のバランスをとることの重要性の推進
（２）こころの健康づくり（自殺対策）の推進

(2)-2)	各種講座・講演等の実施（●）			令和元年度取組についての担当課全体評価	B：概ね計画通りできた
番号	事業名	事業内容	担当課	担当課評価理由	・積極的にチラシを配布するなど積極的に集客に努めたが、参加者数は少なかった。概ね計画どおりに実施することができた。
⑤	介護予防普及啓発事業	・高齢者のうつ予防教室の実施	健康長寿課（旧高齢福祉課）	課題と今後の方向(改善案)	・令和元年度で「うつ予防教室」「うつ予防教室ファシリテーター養成研修」共に終了となる。 内容については「WEB介護予防教室（おうちで簡単シリーズ）」で、分かりやすく情報を発信する。

令和元年度計画		令和元年度実績		令和２年度計画
・（普及）うつ予防教室　13日×1コース×20人 ・（普及）うつ予防教室ファシリテーター養成研修　3日×20人	→ →	・（普及）うつ予防教室　13回　延114人 ・（普及）うつ予防教室ファシリテーター養成研修　3回　延28人 「うつ予防教室」「うつ予防教室ファシリテーター養成研修」共に令和元年度で終了。		うつ予防（こころ）の内容として、感謝の気持ち、笑顔、ハッピーウォーキング、家でのリラックス法など、10種類の情報を発信している。 WEB介護予防教室（おうちで簡単シリーズ）は、個人だけでなく通いの場等で活用することにも配慮し、栄養、運動、認知症など様々なテーマで作成していく。現在１日１種類ずつ活用して1か月分に当たる30種類の媒体を掲載している。当面は作成した媒体の普及に努め、その後、活用状況を見た上で新たな媒体作りについて検討する。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：喫煙

1） 2） 3） 4）	たばこをやめたい人及びその家族への支援（●） 未成年者に対する喫煙防止の取り組み（●） ＣＯＰＤ（慢性閉塞性肺疾患）の知識の普及（●） 喫煙、受動喫煙の害についての知識の普及（●）	令和元年度取組についての担当課全体評価	B：概ね計画通りできた

番号	事業名	事業内容	担当課		
① ④ ⑤ ⑦	健康教育事業 健康づくり推進事業	・各種健康教室の実施 ・広報紙等での啓発 ・喫煙・受動喫煙に関する健康教育の実施 ・地域、職域等へのチラシやポスターの配布 ・各種イベントによる啓発	保健所健康づくり課（総務・健康増進担当）	担当課評価理由	・計画通りに実施できた。 ・スパっと卒煙参加者の3か月後禁煙率は7割を超えており、細やかな個別フォローの効果が表れている。
				課題と今後の方向(改善案)	・健康増進法施行に伴い、禁煙や受動喫煙防止に関する意識が高くなるR2年度もチラシ等を使い、周知を行っていく。

令和元年度計画		令和元年度実績		令和２年度計画
・平成30年度同様「スパッと卒煙教室」年6回実施。 ・受動喫煙防止ポスターを作製して、市内医療機関など関連施設へポスター掲示依頼。肺の立体モデルを教材として使用することで効果的な教室を実施。	→	・「スパッと卒煙教室」年６回実施予定だったが、1回は参加者0名のため、5回実施し14人が参加。3か月後の聞き取りでは10人が禁煙を続行していた。	→	・令和元年度同様「スパッと卒煙教室」年6回実施。
・前年度に引き続き県立高校等へ喫煙防止教育実施。	→	・前年度に引き続き県立高校等へ喫煙防止教育実施、262人が聴講。	→	・前年度に引き続き県立高校等へ喫煙防止教育実施。
・テーマ「たばこの健康被害及び受動喫煙防止対策について」本庁舎内展示コーナーに世界禁煙デー期間でのパネル展示を実施。	→	・世界禁煙デーの啓発のため、本庁舎内展示コーナーに1週間パネル展示を実施。	→	・世界禁煙デー啓発ため、本庁舎内展示コーナーにパネル展示を実施。
・受動喫煙防止対策では、第一種施設への受動喫煙防止対策の情報提供及び各関係機関あて通知文発送。	→	・第2種事業者（小規模飲食店を対象）向け説明会の実施。令和2年2月6日久里浜料理飲食店組合向けに実施（内川町内会館）、令和2年2月27日横須賀市食品衛生協会会員向けに実施（ウェルシティ市民プラザ3階第1）。		
・第2種事業者（小規模飲食店を対象）向け説明会の実施。	→	・喫煙に関する情報をホームページに掲載。		
・喫煙に関する情報をホームページに掲載。	→	・受動喫煙防止対策に関する啓発での駅頭キャンペーンティッシュ配布）を2回実施。（12月9日午前：横須賀中央Yデッキ、午後：追浜駅）		
・受動喫煙防止対策に関する啓発での駅頭キャンペーン（ティッシュ配布）実施。	→	・食育推進キャンペーンにて肺機能比較モデル使用した啓発及び希望者への呼気検査実施、55人が参加。	→	・健康フェア等にて肺機能比較モデル使用した啓発及び希望者への呼気検査実施。
・健康フェアにて肺機能比較モデル使用した啓発及び希望者への呼気検査実施。ポケットティシュ・リーフレットなど配布。	→			

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：喫煙

2）	未成年者に対する喫煙防止の取り組み（●）			令和元年度取組についての担当課全体評価	C：計画通りできなかった
番号	事業名	事業内容	担当課	担当課評価理由	青少年健全育成協力店向け非行防止講座の年度内未実施となり、さらに青少年健全育成協力店の新規開拓も目標値を下回ったため。
②	青少年相談事業	・巡回指導の実施 ・非行防止講座の開催 ・青少年健全育成協力店の登録	こども家庭支援課（旧こども青少年支援課）	課題と今後の方向(改善案)	新型コロナウィルス感染予防の観点からの巡回指導の実施や非行防止講座の実施方法の検討および、青少年健全育成協力店への情報提供のあり方の検討。

令和元年度計画		令和元年度実績		令和２年度計画
・巡回指導は、指導・助言にかかわらず、積極的に若者に声を掛けていくこととする。	→	・巡回指導は、指導・助言にかかわらず、積極的に若者に声掛けをし、地域への巡回も行った。特に、ショッピングモールの喫煙所での高校生の喫煙についての指導を行い、教育関係機関との連絡会等において指導内容について報告し、学校での指導について協力をお願いした。 巡回指導 314件（指導168件、助言146件）	→	・巡回指導は、新型コロナウィルス感染防止の社会情勢を加味しながらの活動という制約の中で、できうる限り、指導・助言にかかわらずに若者に声掛けをし、地域情報を加味しながら地域への巡回を行う。
・非行防止講座の実施。	→	・非行防止講座は未開催であった。		
・引き続き青少年健全育成協力店の開拓を行い、店に対して事業の意義を伝え理解を求め、育成店向け非行防止講座も引き続き開催する。 青少年健全育成協力店　目標値400店	→	・青少年健全育成協力店の新規開拓は目標値を下回り、　育成店向け非行防止講座は未開催であった。 青少年健全育成協力店　累計協力店　379店 新規開拓件数6件	→	・育成店向け非行防止講座は、開催方法の検討や協力店向けへの情報の発信について検討を行う。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：喫煙

2）	未成年者に対する喫煙防止の取り組み（●）			令和元年度取組についての担当課全体評価	A：計画通りできた
番号	事業名	事業内容	担当課	担当課評価理由	・計画中の事業について、予定通り実施することができた。
③	学校保健関係指導	・学習指導要領解説に基づく学習指導	保健体育課	課題と今後の方向(改善案)	・新学習指導要領（小学校は令和２年度から、中学校は令和３年度から全面実施）に基づく学習活動の充実を図る。 （参考）薬物乱用防止教育に係る予算措置の拡充を求める。（小学校46校、中学校23校分）

令和元年度計画		令和元年度実績		令和２年度計画
・引き続き、喫煙や飲酒、薬物乱用防止に関して、更なる指導の充実を図っていく。 学習指導要領に基づく学習指導を行う。 小学6年生の「病気の予防」、中学３年生の「健康な生活と疾病の予防」の中で、喫煙、飲酒、薬物乱用などは健康を損なう原因となること等について、児童生徒の理解を深める。	→	喫煙については、小学校は6年生、中学校３年生の保健の授業内容で取り扱うことが学習指導要領に示されているため、市内小学校46校、中学校23校で学習している。 発展学習は、薬物乱用防止のみのため、喫煙での発展学習はない。	→	・引き続き、喫煙や飲酒、薬物乱用防止に関して、更なる指導の充実を図っていく。 学習指導要領に基づく学習指導を行う。 小学6年生の「病気の予防」、中学３年生の「健康な生活と疾病の予防」の中で、喫煙、飲酒、薬物乱用などは健康を損なう原因となること等について、児童生徒の理解を深める。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：喫煙

4）	喫煙、受動喫煙の害についての知識の普及（●）			令和元年度取組についての担当課全体評価	B：概ね計画通りできた
番号	事業名	事業内容	担当課	担当課評価理由	妊娠・出産の機会を捉え、喫煙や受動喫煙の害について知識の普及をすることができた。 新型コロナ感染症拡大防止のため2月下旬からの教室が開催できなかった。
⑥	周産期支援事業 こんにちは赤ちゃん事業	・母子健康手帳交付時の保健指導 ・妊娠期から子育て期の各種教室の実施 ・生後４カ月までの乳児およびその保護者の全戸訪問の実施	こども健康課	課題と今後の方向(改善案)	各事業を引き続き継続して実施する。

令和元年度計画		令和元年度実績		令和２年度計画
母子健康手帳交付時、周産期の各種教室、こんにちは赤ちゃん訪問等の機会に、喫煙、受動喫煙の害についての知識の普及を継続して行う。	→	母子健康手帳交付時面接、こんにちは赤ちゃん訪問時、プレママプレパパ教室25回（平日11回土曜日14回）で、喫煙及び受動喫煙の害について普及啓発した。また、必要時卒煙教室を案内した。 令和元年度は2,258人の妊娠届出があり、そのうち66人が「たばこを吸っている」と回答。「妊娠がわかりやめた」と回答した人が272人だった。	→	母子健康手帳交付時、周産期の各種教室、こんにちは赤ちゃん訪問等の機会に、喫煙、受動喫煙の害についての知識の普及を継続して行う。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：飲酒

1）	身体に負担をかけない飲み方の普及啓発（●）			令和元年度取組についての担当課全体評価	B：概ね計画通りできた
番号	事業名	事業内容	担当課	担当課評価理由	計画通りに実行でき、また健康情報便の配布により、例年より広範囲の周知ができた。
①	健康教育事業	・地域、職域等へのチラシやポスターの配布 ・職域との連携による健康教育の実施 ・健康教室の実施	保健所健康づくり課（総務・健康増進担当）	課題と今後の方向(改善案)	適正飲酒のみをテーマに健康教育を行うことは難しいが、飲酒は、睡眠や生活習慣病との関係や、依存症という視点からの喫煙との関係等、複合的な健康課題の一要素である。気づきにくい関連や影響を伝えながら適正飲酒についての普及啓発を行えるよう、様々な健康教育の機会を活用していきたい。

令和元年度計画		令和元年度実績		令和２年度計画
・飲酒をメインテーマとした健康教育は集客が難しいため、地域や職域から依頼があった健康教育を実施する際はできるだけ適正飲酒の内容を盛り込んで実施する。 ・新規に取り組む健康づくり情報紙の内容に適正飲酒を取り上げ掲載する。 ・忘年会シーズンに庁内掲示板に適正飲酒を呼びかける文章を掲載する。	→	・地域からの依頼による健康教育において飲酒についての健康教育を行った。（2回130人） ・情報誌「健康情報便」vol２で適正飲酒について記事を掲載した。配布数：6880部（配布先：庁内各所・横須賀商工会議所・市内企業6社）忘年会シーズン前の11月に発行し、庁内掲示板掲載は重複するため見送った。		

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：飲酒

2）	未成年者に対する飲酒防止の取り組み（●）			令和元年度取組についての担当課全体評価	C：計画通りできなかった
番号	事業名	事業内容	担当課	担当課評価理由	巡回指導での高校生・未成年青少年への声掛けは実施したが、青少年健全育成協力店向け非行防止講座の年度内未実施となり、さらに青少年健全育成協力店の新規開拓も目標値を下回ったため。
②	青少年相談事業	・巡回指導の実施 ・青少年健全育成協力店向け非行防止講座の開催 ・青少年健全育成協力店の登録	こども家庭支援課（旧こども青少年支援課）	課題と今後の方向(改善案)	新型コロナウィルス感染予防の観点からの巡回指導の実施や非行防止講座の実施方法の検討および、青少年健全育成協力店への情報提供のあり方の検討。

令和元年度計画		令和元年度実績		令和２年度計画
・巡回指導は、指導・助言にかかわらず、積極的に若者に声を掛けていくこととする。	→	・巡回指導は、指導・助言にかかわらず、積極的に若者に声掛けをし、地域への巡回も行った。 巡回指導 314件（指導168件、助言146件）	→	・巡回指導は、新型コロナウィルス感染防止の社会情勢を加味しながらの活動という制約の中で、できうる限り、指導・助言にかかわらず若者に声掛けをし、地域情報を加味しながら地域への巡回を行う。
・非行防止講座の実施と青少年健全育成に関する内容の充実。	→	・非行防止講座は未開催であった。		
・引き続き協力店の開拓を行い、店に対して事業の意義を伝え理解を求めたい。 青少年健全育成協力店　目標値400店	→	・青少年健全育成協力店の新規開拓は目標値を下回り、育成店向け非行防止講座は未開催であった。 青少年健全育成協力店　累計協力店　379店 新規開拓件数6件	→	・育成店向け非行防止講座は、開催方法の検討や協力店へ向けての情報発信について検討を行う。 ・青少年の健全育成、社会環境の健全化を目的として、引き続き趣旨に賛同する商店の新規開拓を行う。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：飲酒

2）	未成年者に対する飲酒防止の取り組み（●）			令和元年度取組についての担当課全体評価	A：計画通りできた
番号	事業名	事業内容	担当課	担当課評価理由	・計画中の事業について、予定通り実施することができた。
③	学校保健関係指導	・学習指導要領解説に基づく学習指導	保健体育課	課題と今後の方向(改善案)	・新学習指導要領（小学校は令和2年度から、中学校は令和3年度から全面実施）に基づく学習活動の充実を図る。 （参考）薬物乱用防止教育に係る予算措置の拡充を求める。（小学校46校、中学校23校分）

令和元年度計画		令和元年度実績		令和２年度計画
・引き続き、喫煙や飲酒、薬物乱用防止に関して、更なる指導の充実を図っていく。 学習指導要領に基づく学習指導を行う。 小学6年生の「病気の予防」、中学３年生の「健康な生活と疾病の予防」の中で、喫煙、飲酒、薬物乱用などは健康を損なう原因となること等について、児童生徒の理解を深める。	→	飲酒については、小学校は6年生、中学校３年生の保健の授業内容で取り扱うことが学習指導要領に示されているため、市内小学校46校、中学校23校で学習している。 発展学習は、薬物乱用防止のみのため、飲酒での発展学習はない。	→	・引き続き、喫煙や飲酒、薬物乱用防止に関して、更なる指導の充実を図っていく。 学習指導要領に基づく学習指導を行う。 小学6年生の「病気の予防」、中学３年生の「健康な生活と疾病の予防」の中で、喫煙、飲酒、薬物乱用などは健康を損なう原因となること等について、児童生徒の理解を深める。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：飲酒

３）	妊娠、授乳期の飲酒をなくす取り組み（●）			令和元年度取組についての担当課全体評価	B：概ね計画通りできた
番号	事業名	事業内容	担当課	担当課評価理由	妊娠、授乳期の飲酒の害について普及啓発ができた。
④	周産期支援事業	・母子健康手帳交付時の保健指導 ・妊娠期から子育て期の各種教室の実施	こども健康課	課題と今後の方向(改善案)	周産期支援事業を引き続き継続して実施する。

令和元年度計画		令和元年度実績		令和２年度計画
母子手帳交付時面接や妊娠期から子育て期の各種教室において母乳をとおして飲酒が胎児、母体、母乳等に及ぼす影響について啓発を継続して行う。	→	母子健康手帳交付時面接やプレママプレパパ教室の中で、飲酒が胎児、母体、母乳等に及ぼす影響について説明し啓発を行った。	→	母子手帳交付時面接や妊娠期から子育て期の各種教室において母乳をとおして飲酒が胎児、母体、母乳等に及ぼす影響について啓発を継続して行う。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：歯・口腔の健康

１） ２） ３） ４） ５）	歯科健診受診者を増やす取り組み（●） 歯科疾患が全身疾患に関連することの周知（●） 各自の歯の状態にあった歯みがきと歯間の清掃の普及啓発（●） 咀嚼の大切さの啓発（●■） ３歳でう蝕のない児を増やす取り組み（●）	令和元年度 取組についての 担当課 全体評価	B：概ね計画通りできた

番号	事業名	事業内容	担当課		
① ② ④ ⑤ ⑥	歯科保健事業	・１歳６カ月児、３歳児健康診査時や学校歯科巡回教室、地域等からの依頼による健康づくり教室の際、保護者等への歯科健診受診についての普及啓発 ・成人健康教室の実施 ・学校歯科巡回教室の実施 ・妊娠期に実施する教室 ・歯科健康診査の実施 ・ライフステージにあわせた歯科指導・各種健康教室の実施 ・各種相談会等相談事業の実施 ・各種イベント等による啓発 ・１歳６カ月児、２歳６カ月児の歯科健康診査	保健所健康づくり課 （歯科保健担当）	担当課 評価理由	妊婦歯科検診については目標値であった15%を超えたが、オーラルフレイル予防教室～おロの健康ミニ教室～、歯周病検診、生活歯援プログラム、学校歯科巡回教室については新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止したため実績が減少した。
				課題と 今後の方向 (改善案)	歯科健康教育関連については再開に向け、判断を保健所内で検討し市民への啓発は、リーフレットの活用とホームページへの掲載等で対応する。

令和元年度計画		令和元年度実績		令和2年度計画
・各種事業の実施。 ・１８歳以上の者に対し歯周病検診を実施する。	→ →	・各種事業の実施。 ・１８歳以上の者に対し歯周病検診を実施した。（　49回　986人） 歯周病検診結果：異常なし11.9%、要指導55.9%、要受診32.2%だった。	→ →	・引き続き、各事業を実施。 ・生涯にわたって自分の歯でおいしく食べられるよう、ライフステージに応じたフッ化物の利用を推奨する。
・母子健康手帳交付時に妊婦歯科検診について周知し、妊婦自身の歯科疾患の早期発見や治療、歯科に関する健康観・乳幼児期の歯科保健の向上について啓発し、胎児の良好な成長発育と安全な出産を目指す。	→	・母子健康手帳交付時に妊婦歯科検診について周知し、妊婦自身の歯科疾患の早期発見や治療、生まれてくる子どもを含めた歯科に関する健康観の向上について積極的に周知した。妊婦歯科検診受診者は475人（受診率21%）。妊婦歯科検診受診結果：異常なし15.6%、要指導14.1%、要受診70.3%だった。	→	・母子健康手帳交付時に妊婦歯科検診について周知し、妊婦自身の歯科疾患の早期発見や治療、生まれてくる子どもを含めた歯科に関する健康観の向上について積極的に周知する。
・保健所健診センターで健康診査を受ける全ての受診者へ「歯の健康力アンケート」（生活歯援プログラム）を送付し、回答者に対して、歯科に関する健康観の気づき支援や動機づけをする。	→	・保健所健診センターで健康診査を受ける全ての受診者へ「歯の健康力アンケート」（生活歯援プログラム）を送付し、結果を返すことによって、歯科に関する健康観の気づき支援や動機づけを受診者の３２%（2,452人）に実施した。	→	・保健所健診センターで健康診査を受ける全ての受診者へ「歯の健康力アンケート」（生活歯援プログラム）を送付し、結果を返すことによって、歯科に関する健康観の気づき支援や動機づけをする。
・ライフステージにあわせた健康教室を実施し、オーラルフレイル予防について啓発する。	→	・ライフステージにあわせた健康教室の実施で、オーラルフレイル予防について周知した。 ・歯とロの健康づくり教室（成人高齢者）　50回 2,090人 ・オーラルフレイル予防教室～おロの健康ミニ教室～　45回 266人	→	・ライフステージにあわせた健康教室の実施で、特に高齢者対象の健康教室ではオーラルフレイル予防について積極的に周知する。
・集団フッ化物洗口を市立保育園１０園に加え、市立幼稚園２園で実施する。 ・全市立小学校 全学級に対して、歯科巡回教室を実施する。	→ →	・集団フッ化物洗口を市立保育園10園に加え、市立幼稚園２園で実施した。 ・全市立小学校46校に対して、歯科巡回教室を実施した。（一部新型コロナウイルス感染予防対策のため内容変更し実施）	→ →	・集団フッ化物洗口の研修会を希望する市内幼稚園・保育園・こども園に対し実施する。 ・全市立小学校 全学級に対して、歯科巡回教室を実施する。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：歯・口腔の健康

2）	歯科疾患が全身疾患に関連することの周知（●）			令和元年度取組についての担当課全体評価	B：概ね計画通りできた
番号	事業名	事業内容	担当課	担当課評価理由	・口腔機能キャンペーンは、生涯現役フォーラムのみしか配布できなかったため、人数が少なかったが、概ね計画どおりに実施できた。
③	基礎身体能力向上事業 介護予防普及啓発事業	・介護予防に関する知識の普及と教室の実施	健康長寿課（旧高齢福祉課）	課題と今後の方向(改善案)	・令和２年度「幸齢者健康のつどい」は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 ・「のみこみらくらく教室」は、事業見直しに伴い令和元年度で終了となる。

令和元年度計画		令和元年度実績		令和２年度計画
・（普及）のみこみらくらく教室（歯科担当分）　３コース×１日　定員１５人	→	・（普及）のみこみらくらく教室（歯科担当分）3回　延20人	→	・口腔機能キャンペーン　1,000人（生涯現役フォーラム＋高齢者（幸齢者）健康のつどい）
・（普及）口腔機能キャンペーン　1,000人（生涯現役フォーラム＋高齢者（幸齢者）健康のつどい）	→	・（普及）口腔機能キャンペーン　延200人		
・（普及）生涯現役講座（コミュニティセンターと連携）９コミュニティセンター×1回	→	・（普及）生涯現役講座（コミュニティセンターとの連携）（歯科）延269人	→	・（普及）生涯現役講座（コミュニティセンターとの連携）9コミュニティセンター×1回 ＊新型コロナウイルス感染症の影響により、実施回数および定員に変更がある場合があります。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画